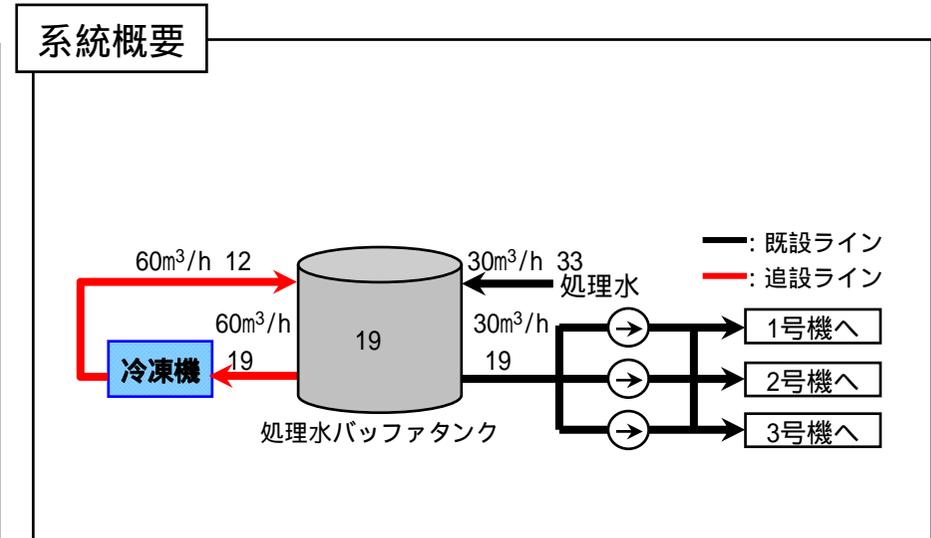
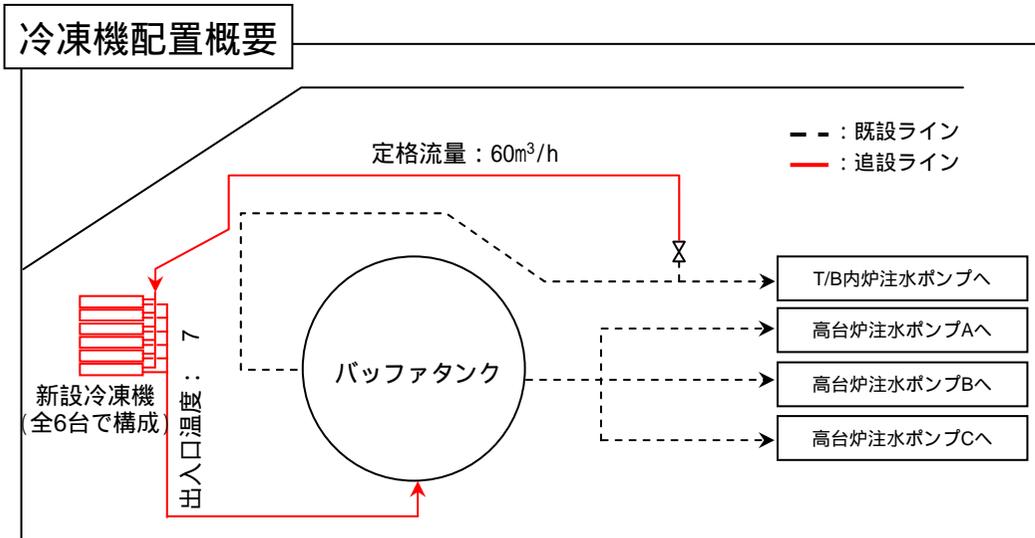


福島第一原子力発電所 処理水バッファタンクに設置した 冷凍機の運用開始について

< 参考資料 >
平成24年7月17日
東京電力株式会社

- 夏季における原子炉関連の温度を、現在までに得られた知見に基づくモデルで解析評価した結果、原子炉関連の温度は約65℃まで上昇する見通し。
- 上記より、夏季においても保安規定の温度制限は満足するが、原子炉関連の温度が上昇した場合でも、注水量を増加させることなく、温度上昇を抑制することを目的として冷凍機を設置し、準備が整ったため、運用を開始する。



■ 冷凍機の性能

● 冷凍機出入口温度： 7 （定格流量60m³/h）

● バッファタンク水温は33 19

（タンク供給処理水：30m³/h、33℃，炉注水流量：30m³/h，
バッファタンクへの入熱無しの場合）

冷凍機の運用開始後の予定について

- 冷凍機の運用開始により、バッファタンク温度が低下
以下の保守的な条件でも23℃を下回るところで推移すると推定している。
 - 冷凍機の性能約70%運転
 - 猛暑（過去30年分の最高）、暖かい移送処理水の流入（33℃程度）
（実際にはさらに低い温度で静定すると考えられる）その後、原子炉関連温度は低下を開始し、3～10日程度で静定する傾向になると想定
- 温度静定の傾向が見られた段階で、原子炉関連温度等を評価の上注水量を調整する予定（低下操作）



処理水バッファタンク（奥）、冷凍機（手前）
撮影日：平成24年7月13日



冷凍機 配管接続状況
撮影日：平成24年7月13日